

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和5年度学校評価 計画

学校評価表作成について変更した点は朱書きしています

達成度（評価）
A：十分達成できている
B：おおむね達成できている
C：やや不十分である
D：不十分である

学校名	唐津市立鏡山小学校
1 前年度 評価結果の概要	<p>【成果】 ① 全職員で学力向上の共通理解と共通実践を継続的に取り組み、児童の学ぶ意欲の向上や学力向上につながった。</p> <p>② 定期的にフォームズでの保護者を対象にしたいじめアンケートを行うなど、いじめの予防、早期発見のための体制が整ってきた。</p> <p>【課題】 ① 人権教育や特別の教科「道徳」の充実を図る。特に、思いやりのある態度や言葉遣いに気を付けて、学校生活を送ることができる児童の育成を目指す。</p> <p>② 業務改善、教職員の働き方改革を推進し、自らの授業を磨いたり、日々の生活を豊かにすることで、自らの人間性や創造性を高め、子ども達に効果的な教育活動を行う。</p>
2 学校教育目標	自ら考え行動し いきいきと学ぶ児童の育成
3 本年度の重点目標	<p>【知】 ① 学習規律を整える。 ② 個別最適な学びと協力的な学びを通して、主体的にいきいきと学ぶ児童を育成する。 ③ 家庭学習の工夫。</p> <p>【徳】 ① 児童・保護者・職員の心の教育を充実するために、校内体制を整える。 ② 特別支援教育の充実を図る。</p> <p>【体】 ① 保護者と共に食育を推進する。 ② 望ましい生活習慣を身に付けるために、家庭での生活習慣に対する意識を高める。</p>

4 重点取組内容・成果指標	中間評価	5 最終評価
---------------	------	--------

(1) 共通評価項目				中間評価		最終評価		学校関係者評価		主な担当者	
重点取組			具体的取組		達成度		実施結果		意見や提言		
評価項目	取組内容	成果指標 (数値目標)	進捗度 (評価)		進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言		
●学力の向上	●全職員による共通理解と共通実践	●「学力向上対策評価シート【共通実践】」に基づき、授業改善に努めることができた。」の質問に対し、肯定的な回答をした教師85%以上	唐津の学びスタイルと校内研究、学力向上対策評価シートを連携させ、より取り組みやすくする。 ・校内研修で定期的に学力向上対策評価シートを振り返り、意識化を図る。 ・校内研究により、取組の促進を図る。		学習指導部【廣重・瀬戸】 研究推進部【緒方・久浦】	
	○学習規律の確立 ・「か・つ・おタイム」の徹底 か…片付け つ…次の時間の準備 お…お茶・おトイレ	○「次の授業の準備をして休み時間を過ごすことができているか。」「授業が始まる前に席につくことができているか。」の質問に対し、肯定的な回答をした児童85%以上	・年3回「か・つ・おタイム」強化週間を設定し、児童への意識化を図る。		学習指導部【廣重・瀬戸】 研究推進部【緒方・久浦】
●心の教育	●児童生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	●道徳に関するアンケートにおいて肯定的な回答をした児童80%以上 ○人権に関するアンケートにおいて肯定的な回答をした児童85%以上。「思いやりのある言葉遣いをしていく」の項目で肯定的な回答をした児童90%以上	○「学校は楽しいか」の質問に対し、肯定的な回答をした児童85%以上 ○認知したいじめの3ヶ月以内での解消率100%を目指す。		道徳教育推進教師【川原】 人権・同和教育担当【仁部】 各学年主任	
	●いじめの早期発見、早期対応に向けた取組の充実	●「先生はあなたのよいところを認めてくれていると思う」と回答した児童生徒80%以上 ●「将来の夢や目標を持っている」について肯定的な回答をした児童生徒90%以上	・構成的エンカウンターやソーシャルスキルトレーニングなどを取り入れた授業実践を重ねる。 ・児童の様子に目を配り、気になることは「校内いじめ防止対策委員会」を開き、組織的に対応していく。		生活指導部【中島・野中】 各学年主任	
	○自分の気持ちを周囲や相手に伝える言葉で表現する力を育てるための教育活動	○自分の気持ちを周囲や相手に伝えることができた回答した児童85%以上	・各学年グループまたは、低中高学年グループで学期に1回ずつ人権集会を行い、人権意識を高めるとともに言葉の大切さを学ぶ機会を設定する。		人権・同和教育担当【仁部】 各学年主任
●健康・体づくり	◎「望ましい生活習慣の形成」	○朝食をとって登校する児童95%以上 ○「1～2年生は21時まで、3年生は21時半まで、4～6年生は22時まで」に就寝した」と答える児童80%以上	・保護者への啓発を図るために「保健だより」をホームページに掲載する。 ・食事の大切さを実感したり命や作る人への感謝の気持ちをもったりできるよう、給食時間等を中心に学年に応じて指導を行う。 ・健康調査時に就寝時刻や朝食を摂ってきたかについて調べ、普段の生活習慣を見直し、健康的な生活を送ることができる児童を目指す。		健康指導部【野上・松尾】 学校栄養職員 養護教諭	
	○運動習慣の定着化	○「授業以外で、運動やスポーツに進んで取り組んでいる」について肯定的な回答をした児童75%以上	・スポーツチャレンジへの取組を推奨する。 ・運動できる場を確保するため、昼休みにも体育館の開放を行う。		健康指導部【野上・松尾】 学校栄養職員 養護教諭	
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外在校等時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守する。	・会議1時間以内を要する。 ・学校や学年行事を要とし、組み合わせられるもの、縮小できるもの、削減できるものなど運営委員会を中心に考えていく。 ・業務記録を有効活用し、月毎の時間外勤務の目標時間を設定し、意識を高めたい。		企画会	
	○教職員の連携促進	○「自己のタイムマネジメントをしながら業務にあたることができたか」「学年や部会で仕事の分担ができているか」の質問に対し、肯定的な回答をした職員70%以上	・管理職や学年主任、部長を中心に仕事の標準化について話しかけ、協働意識を高める。 ・業務の負担に偏りがなければ、企画会メンバーで情報共有し、対応する。		企画会	

(2) 本年度重点的に取り組む独自評価項目				中間評価		最終評価		学校関係者評価		主な担当者	
重点取組			具体的取組		達成度		実施結果		意見や提言		
評価項目	重点取組内容	成果指標 (数値目標)	進捗度 (評価)		進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言		
○特別支援教育の充実	○特別支援教育への理解推進・支援体制の確立	○「職員同士で密に情報交換を行い、具体的な手立てをもって支援することができたか」の質問に対して肯定的な回答をした職員90%以上 ○「特別支援教育に関する通信を読んでいる」保護者80%以上	・特別支援担当者が学級担任や生活支援員と密に情報交換を行い、児童の状況を適切につかみ、具体的な手立てをもって支援する。 ・保護者向けの通信を特別支援部より年5回程度発行し理解を図る。		特別支援部【堀川・前田】	
○予防的・開発的指導	○基本的な生活習慣の実態把握と改善指導	○生活目標のうち「あいさつ」「安全のきまり」「無言清掃」を守れたと答える児童85%以上	・委員会活動や代表委員会を通して、児童による啓発を行う。 ・生活協議会等で児童の実態を把握し、全職員で共通理解を図り、指導重点項目の徹底を目指す。		生活指導部【中島・野中】 特別活動部【古川・野方】	

●…県共通 ○…学校独自 ◎…志を高める教育

5 総合評価・次年度への展望	<p>・</p> <p>・</p> <p>・</p>
----------------	----------------------------